

令和7年度みよし広域連合の温室効果ガス排出状況

本広域連合は、計画期間令和5年度から令和12年度とする地球温暖化対策実行計画を策定し、平成25年度を基準とした令和12年度における温室効果ガス削減目標を15%削減する目標値を設定した。

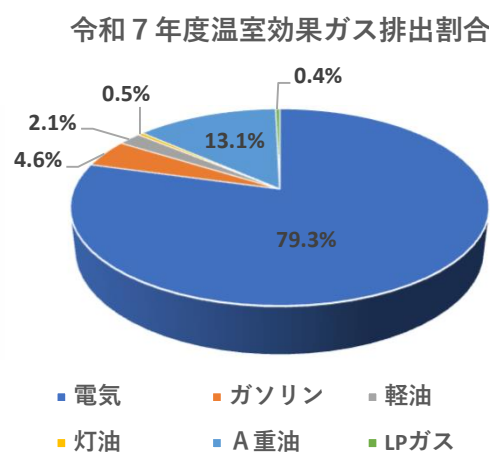
(国の地球温暖化対策計画2030年度の目標値、基準年度2013年度比46%削減)

基準年度 平成25年度温室効果ガス排出量 2,064.8 t-CO₂

目標年度 令和12年度温室効果ガス排出量 1,755.1 t-CO₂

みよし広域連合温室効果ガスの推移

排出源	活動量		排出量 (t-CO ₂)		
	平成25年度	令和7年度	平成25年度	令和7年度	
燃料	電気 (kw/h)	3,084,095.0	2,520,991.0	1,711.7	1,152.1
	ガソリン (L)	29,254.0	28,649.8	67.9	66.5
	軽油 (L)	24,296.0	11,745.4	63.7	31.0
	灯油 (L)	10,701.0	2,730.6	26.6	6.8
	A重油 (L)	67,356.0	70,330.0	182.5	190.6
	LPガス (m ³)	1,936.9	869.3	12.4	5.6
温室効果ガス (二酸化炭素) 排出量			2,064.8	1,452.5	



《活動量》

○排出源の約80%を占める電気の活動量が基準年度の平成25年度と比較して約19%と大きく減少した。

また、軽油・灯油・LPガスについても活動量が基準年度より減少している。

特に、二酸化炭素排出量の約79%を占める電気の活動量が施設全体で大幅に減少したことにより全体の温室効果ガス排出量が削減された。

○ガソリン・灯油については、出張時の公用車利用及び冬季の室内ストーブ等の活動量の割合が増加傾向にある。

《取組み》

【職員共通の取組み】

○公用車の運転は、車間距離を十分に取りエコドライブ（急発進、急ブレーキ）に努めた。

- 休憩時間及び利用後の会議室の照明等をこまめに消灯した。
- クールビズ(軽装)、ウォームビズ(重ね着)の推進を図った。

【庁舎・施設管理等の取組み】

- 公用車については、ハイブリッド車等エコカーへの更新に努めた。
- 事務所等の室内温度については適温設定に努めた。
- 各施設及び公用車については定期的な点検等、適正稼働に努めた。

《改善点》

- エアコンの温度設定が適切であるか見直す。
- 洗車等の流水量の抑制等により節水に努める。
- 個人情報の記載のない片面使用済のコピー用紙は、メモ用紙、試し刷り用紙等として再利用する。